

第23期 株主通信

2018年3月期 第2四半期報告書

(2017年4月1日～2017年9月30日)

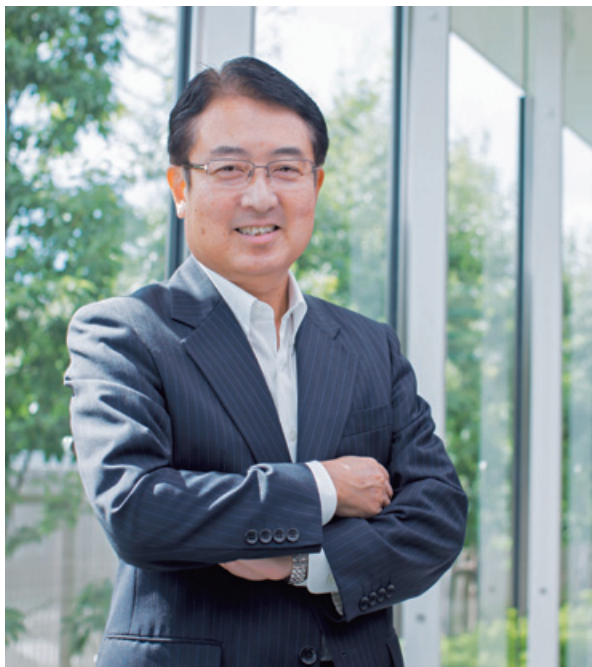
Assuring Growth and Success with IT

－ ITで、確かな成長と成功を －



AGS株式会社

証券コード：3648



代表取締役社長 石井 進

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

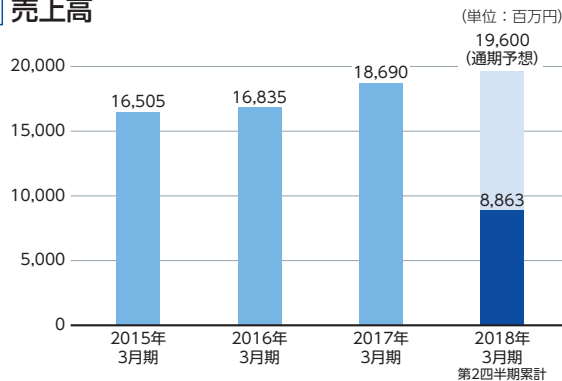
ここに、第23期第2四半期株主通信をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2017年4月1日から2017年9月30日まで）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しておりますが、米国の政策不透明感や世界的な地政学的リスクの高まり、アジアを中心とした新興国経済の景気減速などの影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

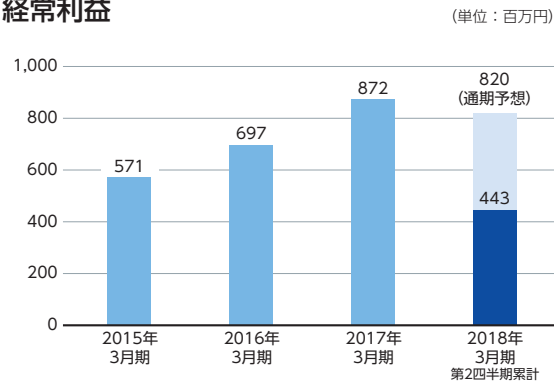
当社グループが属します情報サービス産業においては、「AI（人工知能）」や「IoT（モノのインターネット）」の活用など、ITの多様化・高度化や、サイバーセキュリティ対策の強化などにより、引き続き堅調に推移していくものとみられます。

このような経営環境の下、当社グループの長期経営計画

売上高



経常利益



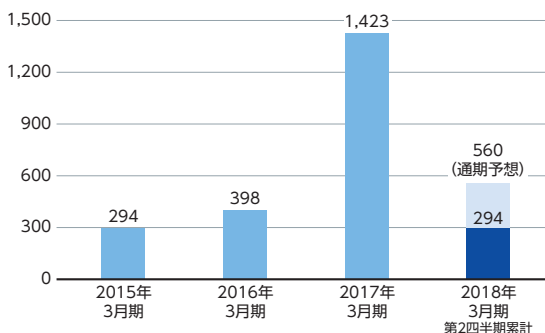
のセカンドステージの初年度となる当第2四半期連結累計期間においては、データセンタービジネスや情報セキュリティビジネスなどの積極的な商談推進を図るとともに、定型業務処理の自動化に有効な「RPA導入支援サービス」の提供や、システム開発における品質・生産性の更なる向上を目指し、新開発標準「INDESTA」を導入するなど、各種施策に取り組んでまいりました。

売上面では、システム機器販売が減少したものの、情報処理サービスの増収などにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,863百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

利益面では、情報処理サービスにおける利益率の増加並びに機械費・修繕費の減少などにより、営業利益は392百万円（同37.5%増）、経常利益は443百万円（同35.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は294百万円（同39.6%増）となりました。

2017年11月

■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



(注) 2017年3月期は、退職金制度の変更などにより、1,211百万円の特別利益を計上いたしました。

ビジョン

- 高品質・高付加価値のサービスを提供する「お客様にとって最も信頼の厚いITパートナー」となる。
- 社員が健康でいきいきとした「最も働きやすく働きがいのある会社」となる。

重点施策

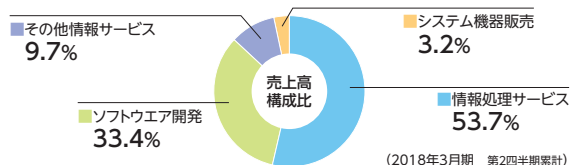
データセンタービジネスの強化・拡大
 SIビジネスの変革・強化・拡大
 新規事業・サービスの創出
 営業戦略の拡充と実効性の向上
 競争力強化に向けた人事施策の推進
 (働き方改革の推進)
 経営基盤高度化とCSR活動の推進

連結計数計画 (2021年度)

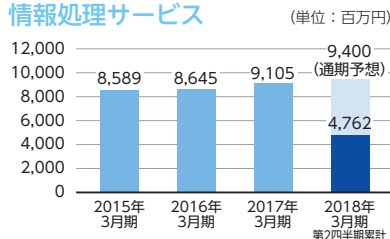
売上高	210.3 億円
営業利益	10.5 億円
営業利益率	5.0%
経常利益	10.4 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	7.1 億円

POINT

- 一般法人向けインフラサービス案件の増加
- 情報処理サービスやソフトウェア開発の利益率の増加



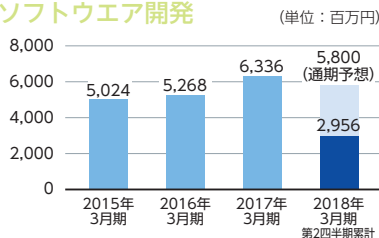
情報処理サービス



情報処理サービスでは、データセンターを基盤に、大型汎用機を中心とした受託計算サービスとデータ入力・印刷・デリバリ等の周辺業務を併せたトータルなサポートとしてIDCサービス、クラウドサービス、BPOサービスを提供しております。

当セグメントの業績につきましては、一般法人向けインフラサービス案件の増加などにより、売上高は4,762百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は、利益率の増加並びに機械費・修繕費の減少などにより779百万円（同22.5%増）となりました。

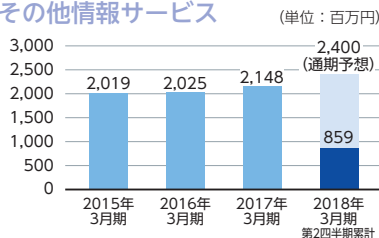
ソフトウェア開発



ソフトウェア開発では、長年にわたるソリューション提供の実績とエンジニア経験を活かし、金融機関・公共団体・一般法人など幅広い業界・業種のお客様に対して、情報戦略策定支援等のシステムコンサルティングに始まり、アプリケーション・ソフトの受託開発やネットワークの設計・構築をトータルに提供しております。

当セグメントの業績につきましては、一般法人向けソフトウェア開発案件の減少などにより、売上高は2,956百万円（前年同期比2.3%減）、一方、セグメント利益は、利益率の改善などにより332百万円（同6.5%増）となりました。

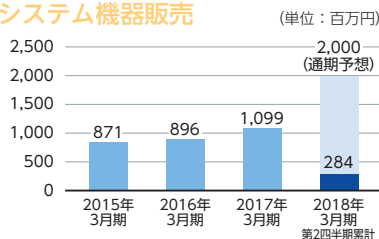
その他情報サービス



その他情報サービスでは、システムパッケージ商品の提供や導入支援サービス、情報セキュリティや事業継続マネジメントに関わるコンサルティングなどを提供しております。

当セグメントの業績につきましては、一般法人向けパッケージソフト販売などが減少したことなどにより、売上高は859百万円（前年同期比4.5%減）、一方、セグメント利益は、利益率の増加などにより49百万円（同49.4%増）となりました。

システム機器販売



システム機器販売では、マルチベンダーとして特定のコンピュータメーカーに依存せず、お取引先の多様なニーズにマッチした最適なコンピュータ機器の選定・販売や、関連する周辺機器・備品、コンピュータ帳票の販売を行っております。

当セグメントの業績につきましては、公共団体向け機器販売が減少したことなどにより、売上高は284百万円（前年同期比32.1%減）、セグメント損失は6百万円（前年同期セグメント利益5百万円）となりました。

「働き方改革」の推進

当社グループは、社員が最も働きやすい会社となるためにグループ一丸となって「働き方改革」に取り組むことを目的として、働き方改革の基本方針及び取組み目標を策定し、長期経営計画の主要施策の一つとして掲げ、推進しています。

「働き方改革推進室」の新設

- 働きやすい環境の整備（在宅勤務制度、テレワーク、フレックス制度の拡充）の企画立案・推進
- 生産性向上に資する業務改善（多能化推進、仕事量の平準化、無駄の排除）の企画立案・推進

2018年3月期第2四半期の実績

- 有給取得率今年度90%達成見込み
- 残業時間前年対比20%超削減
→ 残業時間削減分は賞与にて社員へ還元

**2021年度末までに
次の目標の実現を目指します**

1. 有給休暇取得率100%
2. 所定労働時間内勤務（残業ゼロ）
3. インターバル出勤100%

高校生向け「スマホアプリ・プログラミングキャンプ」実施



2017年8月7日、当社の業務提携先のアシアル株式会社に協賛いただき、高校生を対象とした「スマホアプリ・プログラミングキャンプ」を実施しました。プログラミングの体験を通じて「創造する力」と「つくる技術」を習得してもらうことを目的とし、埼玉県内12校から25名の高校生が参加しました。

参加者は、アシアル株式会社のスマホアプリ開発ツール「Monaca」を使い、自ら『おみくじアプリ』などをプログラミングしました。初めてプログラミングを体験した参加者も多く、大変熱心に取り組んでいました。

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度末 (2017年3月31日)	当第2四半期末 (2017年9月30日)
【資産の部】		
流動資産	7,109	7,165
固定資産	8,422	8,492
有形固定資産	5,635	5,522
無形固定資産	839	896
投資その他の資産	1,946	2,074
1 資産合計	15,531	15,658
【負債の部】		
流動負債	3,007	2,927
固定負債	1,619	1,523
2 負債合計	4,627	4,451
【純資産の部】		
株主資本	10,554	10,751
資本金	1,398	1,398
資本剰余金	473	473
利益剰余金	8,682	8,878
その他の包括利益累計額	349	455
3 純資産合計	10,904	11,206
負債純資産合計	15,531	15,658

1 資産合計

商品が前連結会計年度末比166百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比126百万円増加して15,658百万円となりました。

2 負債合計

買掛金が前連結会計年度末比274百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比175百万円減少して4,451百万円となりました。

3 純資産合計

親会社株主に帰属する四半期純利益294百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末比302百万円増加して11,206百万円となりました。

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期(累計) (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期(累計) (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上高	8,853	8,863
売上原価	6,978	6,848
売上総利益	1,875	2,014
販売費及び一般管理費	1,590	1,622
営業利益	285	392
営業外収益	59	68
営業外費用	16	17
経常利益	328	443
特別損失	7	0
税金等調整前四半期純利益	320	443
法人税、住民税及び事業税	144	126
法人税等調整額	△34	22
四半期純利益	210	294
親会社株主に帰属する四半期純利益	210	294
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期(累計) (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期(累計) (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	746	578
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	△354	△312
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△269	△271
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	121	△6
現金及び現金同等物の期首残高	2,673	2,865
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,795	2,859

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は、578百万円となり、前年同期より167百万円減少しました。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は、312百万円となり、前年同期より42百万円減少しました。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は、271百万円となり、前年同期より2百万円増加しました。

会社概要 (2017年9月30日現在)

商号	AGS株式会社 AGS Corporation
設立	1971年7月
上場市場	東京証券取引所市場第一部 証券コード：3648
資本金	1,398百万円
事業内容	情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売
従業員	連結 972名
本社	〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
浦和ソリューションセンター	〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階 TEL：048-839-5611 FAX：048-877-3500
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 AGSプロサービス株式会社 AGSシステムアドバイザー株式会社

役員 (2017年9月30日現在)

代表取締役社長 兼 社長執行役員	石井 進
取締役 兼 専務執行役員	藤倉 広幸
取締役 兼 常務執行役員	及川 和裕
取締役(社外)	増古 恒夫
取締役(社外)	森谷 由美子
取締役(社外)	岡田 博之
取締役(社外)	馬橋 隆紀
常勤監査役	細沼 弘幸
監査役(社外)	吉能 久芳
監査役(社外)	白田 憲司
監査役(社外)	橋本 光男

株式の状況 (2017年9月30日現在)

① 発行可能株式総数	32,000,000株
② 発行済株式の総数	8,883,966株
③ 株主数	8,384名
④ 大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
AGS社員持株会	1,036,200	11.66
大栄不動産株式会社	640,000	7.20
富士通株式会社	600,000	6.75
富士倉庫運輸株式会社	500,000	5.63
株式会社りそな銀行	400,000	4.50
埼玉県民共済生活協同組合	300,000	3.38
株式会社ティール・アイ・シー	300,000	3.38
千葉県民共済生活協同組合	204,500	2.30
武州瓦斯株式会社	200,500	2.26

- (注) 1. 自己株式は所有しておりません。
2. 2017年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。上記株式数については、当該株式分割前の株式数を記載しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町一丁目1番
電話照会先	府中インテリジェントパーク内Jタワー 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	当社ホームページ (https://www.ags.co.jp/) に電子公告により掲載します。なお、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
お取扱窓口	お取引の証券会社等
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店



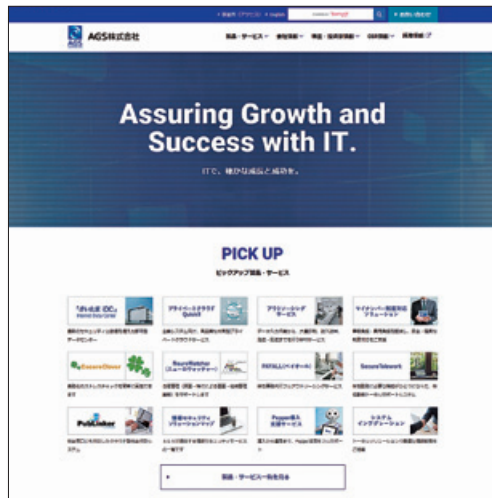
ホームページをリニューアルしました

<https://www.ags.co.jp/>



QRコード

トップページ



2017年6月に、当社のホームページをリニューアルしました。より快適にご利用いただけるウェブサイトを目指し、デザインを一新し、掲載内容の充実を図りました。ぜひアクセスしてみてください。

株主・投資家情報



製品・サービス



採用情報



株式分割後の株主優待制度の内容に変更はありません。

2017年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。
今回の株式分割後も、株主優待制度の内容に変更はありません。

対象となる株主様	優待の内容	発送時期
3月31日現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様で、一年以上継続保有する株主様	VJAギフトカード 1,000円分	6月頃
9月30日現在の株主名簿に記載された100株（1単元）以上を保有する株主様で、一年以上継続保有する株主様	QUOカード 1,000円分	12月頃

※継続保有1年以上とは、毎年9月30日及び3月31日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して3回以上記載された株主様といたします。



AGS株式会社

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25
TEL : 048-825-6000 FAX : 048-822-7337
<https://www.ags.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。